



# 感じよう！ 母なるびわ湖の自然と 息づく人々の暮らし

自然と文化と歴史を堪能できる  
ワークショップは全6コース！

- 雄大なびわ湖畔に建つ休暇村
- 全室レイクビュー
- 日本三大フランドの近江牛

かつてびわ湖の水質が汚れた時、滋賀県民の多くが「粉石けんを使う運動」に参加した結果、水質が改善されたことがあり、「日本の洗剤が無リンに変わった」と言われています。これは、滋賀県民のびわ湖への意識を象徴することです。びわ湖周辺に暮らす人々が、どんな自然を育て、どんな生活や文化を育ててきたのかをワークショップの各コースを通して感じ取ってください。

2019.5.31(金) 15:00 - 6.2(日) 11:30

会場：休暇村近江八幡  
 参加費：会員32,000円 一般34,000円  
 定員：130名(先着順)  
 単位：リーダー研修【1回】  
 主催：公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会  
 協力：滋賀県シェアリングネイチャー協会  
 後援：スポーツ庁、環境省、農林水産省(予定)



## お申込

公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会  
 TEL.03-5363-6010  
 FAX.03-5363-6013  
 mail.kenkyutaiikai@naturegame.or.jp

- ホームページからお申し込みいただけます。
- 在住都道府県、お名前、会員番号をお書きの上、お申し込みください。



## コース一覧 ★の数は体力度の目安を表しています

- A 沖島 ★**  
海なし滋賀県の離島、沖島の自然と暮らしにふれる  
日本で唯一の淡水湖で人が暮らす沖島へ渡ります。早朝から漁に出て  
昼は畑仕事をされる島の人々の暮らしにふれ、島の自然とびわ湖の関わり  
について考えます。
- B 水郷 ★★**  
手漕ぎの舟で水郷めぐり、びわ湖の葦を身近に感じる  
船頭さんの名調子な語りを聞きながら水郷をめぐり、ゆったりとした時間  
の中で湖魚や水鳥たちの「ゆりかご」である葦の息吹を感じます。  
八幡山から水郷を見渡し、湖の生態系や人との関わりを知り、湖国の原風  
景に思いを馳せます。
- C 長浜 ★**  
鍛冶体験で、古の鉄打つ音を感じる  
湖国の山あいの里で、途切れた鍛冶を復活させた職人のお話を聞き、  
鍛冶小屋では五寸釘を打って自分だけのペーパーナイフを作ります。  
戦国時代の自然と人々のつながりにふれます。
- D 信楽 ★**  
古琵琶湖層から始まった信楽焼の魅力にふれる  
その昔、三重県にあったびわ湖の移動した軌跡の地層を見て大地の不思議な世界を感じ、古琵琶湖の古の手ざわりを楽しみながら信楽焼の作品  
作りにチャレンジします。
- E 博物館 ★**  
見る、感じる、琵琶湖博物館と釣り体験  
400万年前にびわ湖が誕生し、長い時間をかけて固有種を育みました。  
びわ湖のプランクトンを採取し、学芸員による観察実習を行い、淡水の生  
きものと環境、人々の暮らしの変化を知り、湖畔で釣りを楽しみながら  
びわ湖の現状を体感します。
- F 休暇村周辺 ★**  
びわ湖のほとりでエクササイズ  
休暇村前の浜でネイチャーゲームやエクササイズでゆっくり過ごし、  
雄大で穏やかなびわ湖の自然を感じながら自分を見つめ直します。

\*応募時にコースのご希望は伺いません。参加要項に同封する参加調査用紙にご記入ください。